

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大仙西町団地2棟外建替住宅建設工	階数	地上7F
建設地	堺市堺区大仙西町1丁6番2の一部	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	209 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2017年7月6日
敷地面積	5,243 m ²	作成者	井上 智博
建築面積	1,187 m ²	確認日	2017年7月6日
延床面積	5,986 m ²	確認者	南口 肇



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	138
②建築物の取組み	93
③上記+②以外の	93
④上記+	93

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

音環境	3.0
温熱環境	4.7
光・視環境	2.8
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

機能性	2.2
耐用性	3.0
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性	3.6

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.1
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源	3.0
非再生材料の	3.7
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.2
地域環境	2.5
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項	
総合 建物の長寿命化や更新性、メンテナンス性に配慮した計画としている。	その他 照明器具は外灯も含め、長寿命のLED採用している。
Q1 室内環境 内装材は規制対象外、又は、F☆☆☆☆の建材を使用し、シックハウスに配慮している。	Q2 サービス性能 住棟内外および住戸内はバリアフリーとし、高齢者等へ配慮している。
Q3 室外環境(敷地内) 緑地を出来る限り多く確保している。歩車分離に配慮した配置計画を行い、敷地内の安全に配慮している。	
LR1 エネルギー 太陽光発電設備(10kw+15kw)を採用し、使用電力量の低減に配慮している。給湯器は潜熱回収型給湯器を採用している。	LR2 資源・マテリアル 内装パネル工法の採用により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能としている。
	LR3 敷地外環境 住棟を出来る限りセットバックすることで、周辺環境への圧迫感を軽減するように配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	大仙西町団地2棟外建替住宅建設工事(第1工区)	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区大仙西町1丁6番2の一部	1.5	A
	主用途/延床面積	集合住宅 / 5,986.27 m ²		

2. 重点項目への取組み				
重点項目	評価点	取組み度		
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●	● ●	
省エネ対策	4	● ● ● ● ●	● ●	
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●	● ●	
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●	● ●	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO ₂ 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			3.2	3
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコア による評価値	建物全体	3.0	4	
		住居・宿泊部分	5.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				5.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				3.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				4.1
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				3.0
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				3.0
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			2.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			3.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			4.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			4.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
太陽光発電設備(10kw+15kw)	
特に配慮した事項	
共用立配管等のPSを、共用廊下及びバルコニーに設置することで、メンテナンス性や更新性を向上させている。	